

第 17 回アジア競技大会（2014/仁川）総合馬術代表人馬選考基準

＜大会期日：2014年9月19日～10月4日＞

2014年アジア競技大会の総合馬術競技の実施基準がCIC1*（チャンピオンシップ）に変更となったことから、ワンスタークラスにおける最強の人馬を選考するため、改めて代表人馬の選考基準を設定することとします。

1. 選考内容

- ◆ アジア大会に参加する意思のある者を公募し、**代表4人馬**と補欠1人馬を選考する。
- ◆ 出国検疫に入る直前に当連盟が指定する獣医師による馬の検査を実施する。
診断の結果によっては、補欠人馬との入れ替えを行なう場合がある。
- ◆ 代表馬が出国検疫に入った時点で補欠としての資格は消滅する。
- ◆ 2013年に選手ロングリストを作成し、2014年1月以降の指定競技会成績により代表人馬を決定する。

2. ロングリストの作成

- (1) 以下に記す認定成績を最低3回満たした選手からロングリストを編成する。
- (2) 2013年3月から2013年12月までの国内外で開催されるCCI（CCN）ツースター/ワンスター、CIC（CNC）ツースター/ワンスターが対象。
- (3) 認定成績基準（以下の①②③をすべて満たすこと）：

①馬場馬術競技	減点 67 以内
②クロスカントリー競技	障害減点 20 点以内
	規定タイム超過 45 秒以内
③障害馬術競技	減点 8 点以内

3. 選考方法

- (1) 2013年12月27日までに人馬のコンビで申請したロングリスト選手より選考する。
- (2) 国外の大会の選考対象期間は2014年1月1日から6月29日までの大会とし、出場予定の選手は2013年12月27日までに3つの大会の出場計画を提出する。大会はCCI（CCN）あるいはCIC（CNC）の**ツースター/ワンスター**を3回とする。変更が生じた場合は、すみやかに理由を明記して提出する。
なお、2014年アジア競技大会はチャンピオンシップ扱いとなったため、代表人馬はFEI 規程におけるMESの取得が必須となります。（規定の成績でCCI1*を完走）
- (3) 国内の大会については、選考対象となる大会を3つ指定する。ただし、諸事情により日程等が変更する場合がある。
- (4) 以下の選考基準により（国内の）代表人馬選考をする。
【選考基準】
3つの大会の馬場馬術競技の減点平均が50以内、クロスカントリー競技減点及び障害馬術競技減点の合計が0の人馬を代表とする。
※上記人馬が**5人馬以上**となった場合、馬場馬術競技の減点平均の少ない人馬より選考する。
※上記人馬が**4人馬未満の場合、4人馬を満すまで**3大会の総減点の少ない人馬より選考する。
- (5) 国外と国内の成績の評価は監督が最終的に判断する。

4. 申込条件

- (1) 選手は、当連盟会員で騎乗者資格A級取得者であること。
- (2) 馬匹は、当連盟の乗馬登録が申込期日までに完了していること。
- (3) 指定競技会以外の国内合宿に参加できること。(海外滞在等の諸事情は考慮する)

5. 申込み・意思表示

- | | | |
|------------|---|------------|
| (1) 参加意思表示 | 2013年3月11日より受付け | 選手のみ |
| (2) 申込み | 2013年12月27日 | 選手・馬匹名(最終) |
| (3) 申込み先 | 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館内
公益社団法人 日本馬術連盟 AG/総合係
FAX: 03-3297-5617 | |

6. 仁川(以下「開催地」という)への輸送および輸出入検疫

- (1) 輸出検疫所に入厩できる馬は代表馬のみとし、補欠馬は開催地への輸出検疫の対象としない。
なお、代表選手の予備馬の検疫所への入所については、すべての経費および責任を選手が負担する場合に限り認める。ただし、予備馬は開催地への輸送は行わない。
- (2) 輸出入検疫に関わる施設及び検査経費は連盟が負担する。
- (3) 指定の集合場所から開催地往復の馬輸送費用は連盟の負担とするが、各選手の活動拠点の厩舎から集合場所までは各選手の経費負担及び責任において行うものとする。なお大会後、馬匹は出発地に戻るものとする。
- (4) 選手および馬管理者1名の活動拠点と開催地間の旅費および開催地での滞在経費(対象競技期間中)は連盟が負担する。
- (5) 上記以外の諸経費は選手の負担とする。
- (6) 検疫所への入厩前に、獣医師による健康検査等を実施する場合がある。

7. その他

- (1) 平成25年度中に参加希望選手を対象とした選考説明会を開催する。
- (2) 国内で開催する選考の対象となる競技会では、競技期間中に馬のインスペクションを実施する。
また、競技終了後に候補馬を対象としたドーピング検査を実施する。
- (3) 選考委員会が必要と判断した場合は、代表となった馬の獣医検査およびドーピング検査を実施する。
なお、診断の結果によっては補欠人馬との入れ替えを行なう場合がある。
- (4) ドーピング検査の結果、陽性となった馬匹については、いかなる場合でも代表としない。
- (5) 2014年6月末時点で健康な馬匹であること。
- (6) アジア競技大会組織委員会の実施要項発表後、実施要項に合わせて選考する代表人馬数を増減する事がある。
- (7) アジア競技大会にて団体種目及び個人種目への出場人馬を先に宣言する必要性が生じた場合、監督がその出場人馬を決定する。

【2014.1.31 付】

【2014.3.25 付】

《国内において CCI/CCN あるいは CIC/CNC の競技の実施を予定している競技会》

2013 年~~-(予定)-~~

3月20日～21日	CNC 三木	三木ホースランドパーク
4月24日～25日	公認競技会 ホーストライアル	J R A 馬事公苑
5月31日～6月2日	全日本ヤング総合	J R A 馬事公苑
7月19日～21日	全日本ジュニア総合	山梨県馬術競技場
8月10日～11日	公認競技会 ホーストライアル	ノーザンホースパーク
9月 6日～ 8日	全日本総合	三木ホースランドパーク
10月25日～27日	CCI 三木	三木ホースランドパーク

2014 年

5月16日～18日	CIC1*Tokyo/全日本ヤング・ジュニア総合	JRA 馬事公苑
6月11日～13日	CCI1* Miki	三木ホースランドパーク
7月11日～13日	全日本総合 (CNC2*) /CIC1*	三木ホースランドパーク

(注) アジア競技大会の候補選手は、ワンスター競技に出場しなければならない。